

特集

今田議員・蕎麦田議員が聞く

一般社団法人

竹原観光まちづくり機構



▲視察の受入れの様子

Q 設立の経緯、目的を教えてください。

コロナ過で竹原市内の宿泊や飲食などの観光産業への影響が非常に大きかった中で、関係事業者が将来を見据えた持続可能な観光事業を進めるとともに、戦略的にスピード感を持った観光まちづくり施策を推進していくため、国が推奨する観光DMO(観光地域づくり法人)という事業推進の専門組織である法人を令和4年12月に設立しました。設立後、本市の観光振興施策の方向性を示す観光振興計画に基づき策定した戦略に沿って事業を展開し、本年3月に国の登録DMOに認定されました。



▲ベジタリアン・ヴィーガン対応メニュー講座の様子

Q 事業内容を教えてください。

竹原の認知度を上げるための国内外の観光プロモーションのほか、関連した旅行商品(体験コンテンツ造成など)や外国語ガイドの育成を行っています。また、観光PRイベントでの物販やふるさと納税を通じた事業者への商品企画の提案や販路開拓の支援を行っています。

この他、移住定住希望者の相談業務やコワーキングスペースの運営も行っており、将来は「まちづくり総合商社」的な役割を担える組織づくりを目指しています。



事務局長代理
中川 隆二さん



事業課長
内藤 隆久さん

Q どのような役割が ありますか。

観光まちづくり機構(竹原DMO)に求められる役割は、民間が実施したほうがより効果が高いと見込まれる事業を柱にすることだと思えます。

現在、市内観光事業者の皆さんは、それぞれの立場でプロの方々ですが、これら関係者をつなぐ仕組みが不十分と感じており、例えば英語対応のツアーとガイドを造成することで、宿泊や飲食事業者との連携も強化されていくといったような仕組みを考えるのが我々の役目と考えています。

また、こうした仕組みを理解してもらうには、DMOの必須業務であるマーケティング(市場調査)をしっかりやって、市場動向から見える戦略的な手法を探り、関係者と共有を図りながら、事業を進めていくことだと思えます。

Q ふるさと納税の状況を 教えてください。

令和6年度の実績は、市への寄付額約1億4千6百万円で、前年比123.7%の増となっています。これにより、市内返礼品事業者の返礼品数も同様に増えているので、返礼品総額は約4千4百万円となり、これは経済効果と言っているのではと思っています。

また、返礼品の提供事業者を4社から65社返礼品数を200から600に増やしました。ふるさと納税という制度は地域と行政が連携

しないと盛り上がりがないと感じていますので、これからも我々DMOがつなぎ役となって、返礼品事業者との関係構築に力を入れていきます。

Q 地域との連携はどのように されていますか。

竹原DMOの法人設立に関わった商工会議所、観光協会、市、DMOの4者で定期的な情報共有の場を作っており、実務レベルの連携は今も続いています。ふるさと納税では返礼品出品者への報告会を開催して、新規参入者も含めた交流の場を作り、出品者を盛り上げる環境づくりをしています。

また、海外客の対応として、忠海地域でベジタリアンやヴィーガン対応のメニュー開発を飲食関係者と連携できたので、これを市内に広げていけたらと考えています。

さらに市外の関係者では、広島空港や県観光連盟のほか、東広島市や三原市等、近隣のDMOとも定期的な情報共有を図っており、大久野島ガイド養成のモニターツアー開催時に、東広島DMOの協力で留学生を手配してもらったなど連携をしています。

Q 市民の皆さんに伝えたいことは、

竹原の観光において、「観光では食べていけない」と言われる方がいますが、外国人観光客は確実に増えているので、関係者の皆様にはこれを前向きにとらえて、海外客の受入体制や連携を強化することをお願いしたいです。

す。

また、一昨年市民参加のワークショップにおいて、竹原ブランドを確立するためのツールとして、観光ロゴとキャッチコピーもできているので、これを皆さんで使っていただき、竹原を盛り上げてもらいたいと思います。

Q 今後の目標を教えてください。

竹原DMOの役割でお話ししたとおり、関係事業者と連携して具体的な体験メニューや特産品開発など、観光客の満足度を上げていく取組を優先していきたいと思えます。その中では、やはり観光DXといった効率化、省力化など今日的な課題も避けて通れないと感じています。

最後に、竹原市が目指す持続可能な観光まちづくりの実現に向け、竹原DMOが推進役となり、市との連携をはじめ、市内関係者や事業者を巻き込みながら、また、理解をいたしながら観光振興を進めていきますので、今後ともよろしくお願ひします。



▲ふるさと納税返礼品事業者との事前協議の様子